



2022年 2月15日
第138号

JR 東労組 Yokohama

JR 東労組 横浜 地本

発行人 助川一実
編集 情宣担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申第19号「相模線ワンマン運転について」に関する基本申し入れ団体交渉を行う①

第1項 車載ホームモニタを、よりフレームレートの高いものへと改修すること。

会社回答 現時点において、車載ホームモニタを改修する考えはない。

組合	会社
<ul style="list-style-type: none"> 列車の後方にある踏切を横断する公衆が乗降している旅客に見える。 	<ul style="list-style-type: none"> 目が慣れれば違和感がなくなる。現場からの声があれば今後は検討していく。現状は問題ないという認識。
<ul style="list-style-type: none"> 現場の声に基づいて変更する考えはあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現場の声を集めて、必要な対応を出来る限り行っていく。

第2項 降雨時および落葉時における空転ならびに滑走を防止するため、粘着性能の改善を図ること。

会社回答 降雨等の条件下における走行状況について、関係個所と情報共有を進めている所である。

組合	会社
<ul style="list-style-type: none"> 降雨時、落葉时空転がひどい。空転検知動作時車両が加速を抑制するため、速度が向上しない。遅れの原因になりかねない。 	<ul style="list-style-type: none"> 話は聞いている。本社の車両開発部門とも話を共有している。粘着性能を上げる・変更すると性能試験をやり直す必要がある。本社一支社一現場と連携しながら対策を検討中である。

第3項 夜間における警備強化と多客時におけるドア扱いを安全かつ円滑に行うため、警備員ならびに通対要員を配置すること。

会社回答 現時点において、警備員等の配置を変更する計画はない。

組合	会社
<ul style="list-style-type: none"> 現行の体制はどうなっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ガードマンはエリアを決めて巡回している。ワンマンになるからといって増やす計画はない。
<ul style="list-style-type: none"> 車内での暴力事件などが増えているそこに対する考え方を示すこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ガードマン配置計画は回答の通り。多客時は支社社員も含めてガードマンでの巡回は行っていく。
<ul style="list-style-type: none"> 朝の通勤ラッシュ時の対応はどのように考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現行は現状の体制での対応という考え。コロナが落ち着いたら考えるが、現在の乗車人数では増員は考えていない。その都度考える。
<ul style="list-style-type: none"> 折返し時の車掌による車内点検は今後どのように行っていくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も乗務員が行うとなるので運転士が対応となる。
<ul style="list-style-type: none"> ワンマン運転での経験がない中で、朝通勤帯を迎えるのは危険がある。段階的に進めていくためにも通対時間帯の要員が必要だと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 現行海老名や厚木は混雑している。フォロー体制は何らかのことはやっていく考えである。何時の何駅が混雑しているかは随時報告を頂きたい。
<ul style="list-style-type: none"> 新車導入時に支社の方が各駅に警備として配置されていたが、ワンマン運転時にはそのような計画はあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 今のところ回答できるものは無いが、何らかの形で対応する。

第4項 ワンマン運転における教育・訓練は社員の理解度を把握し、社員から要請がある場合はその都度対応すること。

会社回答 必要な教育・訓練は実施している。

組合	会社
<ul style="list-style-type: none"> 社員の習熟度に応じて、不安な声があれば社員の教育を行っていく考えはあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人の要望に関しては、現場での出来る範囲での対応となる。
<ul style="list-style-type: none"> 社員から不安や理解不足等申告があった場合は、理解が深まるまで教育を行うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 不安なまま乗務するのは良くないので指導員に相談してほしい。

その②へ続く